



No.3528

第3846回例会
令和6年10月9日

OBIHIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

会長 村松一樹

方針「Rotary Pride!」

2024-25年度国際ロータリーのテーマ **ロータリーのマジック**

■会長報告

村松 一樹 会長



本日は10月2週目の例会ですので、はじめに理事会の報告をいたします。10月2日の理事会では向こう2ヶ月の事業計画に関する協議を行い決議されました。詳細は議事録を参照願います。その他、帯広ロータリークラブ定款第10条第5節(b)に基づいた梅安会員からの出席免除会員申請を受理することで決議しました。また、稼働が始まった例会の「出席確認システム」について、約8割の回答があったことが報告されました。とてもいいスタートが切れたと思います。フードロス削減に向けても「目指せ100%！」で取り組みましょう。

次に、10月3日の朝、国際ロータリー第2750地区宮崎直前ガバナーによる納沙布岬から長崎県への自転車走破チャレンジ激励に参加してきましたので報告いたします。ロータリークラブのポリオ撲滅活動周知を目的とした素晴らしい活動です。同じことはとてもできませんが、その精神を見習いたいと考えます。

本日はこの後、はぐく一む日月伸施設長による講話をお聞きします。先見の明のある帯広市民の手による森づくりの歴史を学び、その意義を感じたいと思います。

以上、会長報告とさせていただきます。本日も、よろしくお祈りいたします。

■ゲスト紹介 はぐく一む 施設長 たちもり 日月 しん 伸 様

■会務報告

大江 平 幹事

①RI第2500地区大会(帯広)開催のご案内

日 程 10月12日(土)～10月13日(日)

場 所 帯広市民文化ホール 他

《大会1日目(12日(土))》

記念チャリティゴルフ大会

7:00～

帯広国際CC

《大会2日目(13日(日))》

登録受付	9:15～	帯広 市民文化ホール
本会議	10:00～11:45	〃
記念講演・本会議	13:00～16:50	〃
大会記念懇親会	17:20～19:00	ホテル日航 ノースランド帯広

②帯広西RC、10月10日(木)の例会は、休会と致します。
(地区大会繰下げ)

帯広北RC、10月11日(金)の例会は、休会と致します。
(地区大会繰下げ)

帯広南RC、10月14日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広東RC、10月15日(火)の例会は、休会と致します。

帯 広RC、10月16日(水)の例会は、休会と致します。

帯広東RC、10月29日(火)の例会は、休会と致します。

帯 広RC、10月30日(水)の例会は、休会と致します。

③帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 10月22日(火)午後6時30分

場 所 幕別パークホテル悠湯館

■次週プログラム予定

10月13日(日)「RI第2500地区 地区大会」

10月16日(水)「休 会」

10月23日(水)「グローバル補助金について」

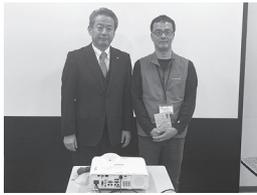
(国際奉仕委員会)

RI第2500地区グローバル補助金チームリーダー

荒井 剛 様(釧路RC)

■プログラム 「帯広市の都市形成と『帯広の森』」 (社会奉仕委員会)

はぐくむ 施設長 日月 伸 様



帯広の都市形成と『帯広の森』

50周年

帯広の森・はぐくむ
日月 伸 (たちもり しん)

先史時代～アイヌ文化期

- 旧石器時代 約2万4千年前～
- 縄文時代 約1万年前～
- 鉄器時代 2500年前～
- 部文時代 1200年前～
- アイヌ文化期 800年前～

トノサマバツタ大発生と十勝内陸調査

- 明治の大発生 (1879～1885、明治12～18)
- 十勝が全道に被害が拡大
- 帯広で十勝を調査し (1881年) 帯広産を特定
- 十勝内陸の調査が進む

田内捨六らの諸州巡回復命書 (1882)

帯広十勝全道へ林野原原彼此相半バシ恰も天道ノ大木ノ如シ

→十勝は森林と草原が半々ぐらいて、まるで天然の広大な牧場のような

民間による入植

- 道内の多くの都市の開拓は官主導 (屯田兵) 札幌、旭川、北見
- 帯広は民間主体で開拓 晩成社 (1883～) など

監獄とインフラ整備 (1892～)

- 帯広外役所開設 (1892年、明治25年)
- 十勝分監 (のち十勝監獄) 建設 (1893年、明治26年) 原本確保のため音更川上流 (橋平付近) での伐採開始
- 学校・裁判所などの建物、道路、鉄道、河川工事などのインフラ整備に資材が供給
- 監獄で作られる様々な資材が移住者の生活を支える。

鉄道の開通

- 1900年代初頭、鉄道開通 (十勝線開通は1907年)
- 運送の主力が川船から鉄道へ
- 道内、道外との連絡により、物流、文化、産業の変化

1904年(明治37年)作成 帯広市街形跡地図

古地図にみる帯広の植生

帯広の植生

帯広の植生

ニシキ、オシロイ、カマド、センブリ、クマシ、カマド、センブリ、クマシ、カマド、センブリ

帯広の植生

帯広の植生

ニシキ、オシロイ、カマド、センブリ、クマシ、カマド、センブリ

①帯広市 大通り起点付近から南側

明治26年ごろ

②帯広市 西1条中通の木軌道

明治26年ごろ

③十勝測候所付近 (現水光園付近)

明治26年ごろ

『帯広の森』

『帯広の森』の概要

- 帯広市街地南西部に位置
- 幅約500m、延長約1.5km、面積約800ha
- 十勝川、札内川などとともに市街地を囲む
- 都市公園としての位置づけ

帯広の森構想

第5代 吉村市長
近代的田園都市構想
20万人都市論
「ウィーンの森」に感銘

→帯広の森構想
人口20万人の都市部を緑地帯で囲み、人間社会と自然環境の調和を図る
【帯広の森と街を創るグリーンプラン (1970)】

帯広の森の森づくり沿革

- 1975年 造成開始
- 1975～2004年 市民植樹祭 (30年間)
- 1991～2005年 市民育樹祭 (15年間)
- 2010年 帯広の森・はぐくむ開館

市民植樹祭 (1975～2004)

- 毎年5月、約5,000人が参加
- 30年間で延べ約15万人が参加
- 55樹種、約23万本を植栽
- 用地の減少により大規模行事としての市民植樹祭は2004年で終了。

市民育樹祭 (1991～2005)

- 開伐や下枝払いなど
- 実行委員会を組織
- 毎年10月に約1,000人が参加
- 樹木の成長等に約1億、安全確保が困難となり大規模行事としての育樹祭を2005年で終了

帯広の森 植樹から森への変化

1971年 帯広の森

現在 帯広の森

森のステージプラン

市民団体による森づくり活動

森づくりに関心を持つ市民団体に活動の場を提供
→自主的な森づくり、協働の森づくりを推進

8団体が活動中 (2024年6月現在)

- エゾリスの会
- 帯広の森サポーターの会
- 帯広の森青少年子ども会 樹木園遊園地
- 日本森林体験推進会 札幌支部帯広支所
- ふれあいおん・とから 緑地会
- 森づくりサークル もりとも!
- 森の記録部 十勝

市民団体による森づくり活動

帯広の森・はぐくむ

2010年 開館

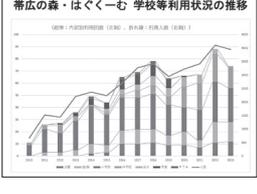
「帯広の森」の育成・管理、利活用の拠点施設

様々な普及行事

自然観察会、森づくり、森のクラフトなど

学校などの体験学習

自然観察、開伐体験など 幼児～大学生まで



【帯広の森を散策】



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30 例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

- 創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日
- 事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
- 発行 / クラブ広報
- 委員長 / 荒井 純一 副委員長 / 高原 淳・三谷 郁央
- 委員 / 大和田三朗・千葉 直樹・林 淳也・大友 一弘
- ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>